

東京電機大学同窓会

令和 3 年度第 1 回幹事会議事録

開催日時	令和 3 年 6 月 13 日（日）13：00～14：45
開催場所	遠隔会議
出席者 （順不同、敬称略）	松崎 裕一、福澤 智、大野 孝、早水 俊樹、小島 一記 相川 昭仁、福嶋 邦夫、本橋 光也、濱田 剛、松村 晃司 野島 謙之助、北田 博雄、北村 要、加藤 綾子、金築 律夫 連記 宏徳、沖津 進一、高野 千尋、坂田 一也、江頭 勇 山崎 宏文、吉田 憲司 計（ 22 名 ）
配布資料	なし
議事内容	司会（議事進行）：坂田 一也 記録者：江頭 勇

坂田一也幹事（総務委員長）の司会により開会した。松崎会長の挨拶に続いて、司会による本日の議事および進行について確認が行われ、以下の審議を行った。

1. 前回議事録の確認 ＜総務委員会 坂田委員長＞
 - ・前回議事録の内容について説明があり、承認された。

2. 令和3年度 講演会・定時総会の報告 ＜大野副会長、早水副会長、坂田委員長＞

- （1）総括 ＜大野副会長＞

- ・講演会・定時総会は、幹事の協力により滞りなく終了した。
- ・講演会に関する Q & A を同窓会ホームページに掲載した。
- ・反省点として、下記3点が挙げられた。
 - ①メディアセンターに録画依頼をしていなかった。
 - ②Discardの活用が足りなかった。
 - ③全体として講演会・総会に統一感がなかった。

- （2）講演会（オンライン配信） ＜早水副会長＞

- ・小惑星探査の意義、プロジェクト管理のノウハウやチームワーク等、貴重な情報や体験談を聞くことが出来た。
- ・事前登録者は588名、オンライン参加者は408名（登録者の参加率：72%）、オンライン質問数は32件だった。
- ・前回（令和元年度）と比較すると、若い世代（1990年代以降に卒業）の参加者が増えた。オンライン配信が寄与したと考えられる。

- （3）定時総会 ＜総務委員会 坂田委員長＞

- ・議事録の作成は、議事録署名人の署名・捺印をもらい、完了した。

3. 会長の所信表明

＜松崎会長＞

- ・会長就任に伴い、松崎会長より所信表明があった。

4. 新体制での事業運営方針の説明（運用上の注意事項含む）

＜松崎会長＞

- ・新たな取り組みとして、委員会の担当事業と委員会横断のプロジェクト事業に区分する。
- ・4つの委員会（事業、在学会員支援、広報、総務）は維持する。委員会の体制は、委員長1名に副委員長2名迄とする。
- ・委員会の担当事業の一部をプロジェクト事業にして、現時点で9つのプロジェクトを発足した。プロジェクト事業の責任者は、PJリーダーと補佐役員となる。
- ・委員会に属さない幹事は、希望するPJに複数参加（最低2つ）する。委員長・副委員長もPJに参加する。委員会から依頼があれば、幹事は委員会の事業も支援する。

5. プロジェクトの紹介

＜各PJリーダー＞

（1）校外研修会PJ

＜補佐 早水副会長＞

- ・目的/狙いは「親睦＋勉強、一体感を生む、現役幹事の参加率アップ」となる。
- ・参集型とオンライン型を平行して検討する。
- ・日程は、例年通り12月第1週の（土）（日）で、オンラインは（土）を予定している。
- ・主体的に企画・運営したい方や、研修先の候補や研修内容にアイデアを持っている人を募集する。

（2）定時総会・講演会PJ

＜濱田PJリーダー＞

- ・目的は「定時総会・講演会の企画・運営」となる。
- ・定時総会は、卒業生や大学関係者のステークホルダーに同窓会の運営状況を正しく情報発信するために開催する。
- ・講演会は、定時総会の参加者増加、大学イメージアップ、地域貢献等のため開催する。
- ・年間活動は、企画・広報・準備・本番の流れとなる。各段階（3回程に分けて）で幹事に協力依頼する。

（3）仕事研究セミナー

＜補佐 相川会計＞

- ・目的は「学生支援センター主催の仕事研究セミナーの支援」となる。
- ・日程は、2022年1月29日（土）で決定となり、開催場所は東京ビックサイトとなる。
- ・当日は、主に協力依頼されている学生や企業の誘導を行う。同窓会が支援出来ることを検討・提案する。

（4）オンライン写真展PJ（新）

＜金築PJリーダー＞

- ・目的は「埼玉県支部との共催による、ニューノーマルな新たなイベントの仕組み作り」となる。
- ・卒業生が集える新たな活動の場として、ネットを有効活用する。
- ・持続可能（Sustainable）なイベントとなるような仕組みを作る。

（5）東京江戸歴史散歩PJ

＜金築PJリーダー＞

- ・ 目的は「東京近郊の史跡を巡りながら、同窓会関係者と交流して、同窓会活動の活性化に繋げること」となる。
- ・ 散歩ルートに由来する歴史に触れて、その土地のことも体験しながら散歩する。
- ・ 事前に下見を行い、古い地図と現在の地図を比べて散歩ルートの決定、安全確保の確認や歴史情報の収集等を行う。

(6) 校友会のしおり P J

＜加藤 P J リーダー＞

- ・ 目的は「校友会のしおり作成に協力すること」となる。
- ・ 校友会のしおり作成に向けて、校友会主催の「しおり委員会」に 2 名程が参加する。
- ・ 同窓会に関するしおりの上半分程度（写真選別・配置、コメント等）を担当する。
- ・ 新たなアイデア（今年度：QRコードの追加）も検討・提案する。

(7) 似顔絵コーナー P J

＜連記 P J リーダー＞

- ・ 目的は「学園祭で地元との親睦を深めると共に、絵師の活動も支援すること」となる。
- ・ 新たなアプローチとして、ニューノーマルな取り組み（似顔絵コーナーのオンライン化、似顔絵のデータ化など）を検討・提案する。

(8) 歴代会長会 P J

＜坂田 P J リーダー＞

- ・ 目的は「会長交代に伴い歴代会長を招待して新会長を紹介すると共に、歴代会長に意見を伺い同窓会運営の参考にすること」となる。
- ・ 全ての幹事が参加しないため、PJメンバーを募集するか否かは今後の検討とする。

(9) 新幹事の発掘 P J（新）

＜福澤 P J リーダー＞

- ・ 目的は「幹事会を安定的に運営するための基盤を作ること」となる。
- ・ 現状は幹事の人脈で集めているが、人員構成のリスク（学部や学科に偏る等）はある。
- ・ 今後も人脈を活かした紹介制度は維持しながら、新たな取り組み（校友会とコラボしてメルマガで公募する等）を検討・提案する。

6. その他

(1) 同窓会運営に関する提案

＜高野幹事、大野副会長＞

- ・ 世代を超えて耳にするSDG's（持続可能な開発目標）のキーワードを同窓会の活動に落とし込む提案があった。具体的には今後の検討となる。
- ・ 効果として、卒業生を始め多くの方が同窓会の活動に興味を持つことで、同窓会の更なる拡大や発展が期待出来る。

(2) 大学（学園）の新型コロナ対応の概況報告

＜総務委員会 坂田委員長＞

- ・ 4 月から学生を半分に分けて隔週登校を実施している。
- ・ 学生支援センターの組織変更があった。

(3) 次回幹事会（日時・場所：7 月 31 日（土）10 時半・遠隔会議）

以上